

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和6年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和6年11月21日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁15階 15C会議室

令和6年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和6年度第3回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和6年11月21日(木) 14:00～15:30

開催場所 本庁15階 15C会議室

3 出席委員(五十音順)

古林 節子、中里 彰宏、樋上 弥寿子、森江 由美子

4 議事

(1) 令和6年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 令和6年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和6年度第2四半期に契約をした工事の中から、中里委員が10件(契約課契約分8件、西部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による鋼構造物工事で、入札参加申込者4者のうち3者が辞退し1者入札となっているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 若戸大橋(吊橋部)の塗装部分を補修する工事である。

若戸大橋は、供用開始から数十年経過しているが、この十数年、補修工事を行っておらず塗装が古くなっていることから、順次補修工事を行っている。今回の工事は、戸畑側の陸地部分における高所での作業となるため、高度な技術が求められることや十分な安全対策が必要となるなど工事施工上の配慮が求められるため、技術提案を評価する総合評価落札方式を採用した。

参加申請は4者で、3者が辞退したため、1者による入札となった。入札参加者が1者のみとなったため、総合評価の比較対象者は無かったが、技術提案の評価に問題はなく、落札業者と決定した。

(問) 総合評価、一般競争入札による解体工事で、技術点が2位で、落札金額が6位のため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 庁舎の取り壊しを行う工事である。隣接する場所に小学校があるため、安全性や騒音の抑制が求められることや、古い建物でありアスベストの飛散防止が必要となるなど施工上の特別な対応が求められるため、技術提案を評価する総合評価落札方式を採用した。

参加申請は9者で、2者が辞退したため、7者による競争入札となった。落札業者の入札金額は6位、価格以外の評価点は1位であった。7社の落札金額の差は小さくなく、所定の手順に従い評価値を算出したところ、価格以外の評価順位を逆転するに至らず、評価値で1位となった業者を落札者とした。

(問) 一般競争入札による土木工事で、落札率が100%であるため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 河川を改修する一般的な土木工事で、西部地区の土木Bランク業者を対象とした。

参加申請は11者であったが、1者が参加資格要件を満たさず、7者が辞退や他の案件を落札したことによる取消のため、3者による競争入札が行われた。入札の結果、2者が最低制限価格を下回ったため失格となり、予定価格と同額で入札した業者が落札業者となった。

(問) 一般競争入札による管工事で、入札参加業者数が少なく、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 体育館に空調設備（エアコン）を設置する工事で、市内の管Aランクの業者を対象とした。

年度内では発注件数が多くなる7月の発注であったこと、また暑い時期の作業で、貸館中の体育館で多くの設備を設置、配管する必要があるなど工事内容から敬遠したのか、参加申請は5者と少なく、さらに2者が辞退したため、3者による競争入札が行われた。入札の結果、2者が最低制限価格を下回ったため失格となり、唯一、最低制限価格を上回る価格で入札した業者が落札したが、その金額が予定価格に近い額であったことから落札率が高くなったもの。

(問) 指名競争入札による電気工事で、落札率が100%であるため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 焼却工場の排ガス分析計という電気計装設備を更新する工事である。

煙道ガス分析計工事の実績がある電気工事の業者5者を指名し、競争入札を行ったところ、1者が最低制限価格を下回り失格となり、残り4者が予定価格と同額での入札であったため、くじ引きにより落札者を決定した。

本件工事は、直接工事費のうち機器代の占める割合が高く、人件費なども考慮すると予定価格を下回る金額での応札が困難だったのではないかと考えている。

(問) 指名競争入札による電気通信工事で、落札率が低いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 陸上競技場の古くなった非常放送設備を更新する工事である。

市内の電気通信工事の業者10者を指名したところ、5者が辞退し、5者による競争入札が行われた。工事費用のうち直接工事費に占める機器費の割合が高いため、最低制限価格を設けなかったが、機器の調達は、日頃の取り扱いや流通ルートの有無等の差が入札価格を左右することから、応札額にばらつきがあった。その結果、落札業者の入札金額と予定価格に差があり、落札率が低くなったものである。

(問) 特命随意契約による機械器具設置工事で、落札率が高く、1者の特命随意契約となった詳しい状況を知りたく抽出した。

(答) 焼却工場の溶融炉を修繕する工事である。

溶融炉は、経年劣化による部品交換が必要であり、非常に高い温度で燃やすことから、色々な機材をメンテナンスする必要があるという特性を持つ。施工にあたっては、市のごみ処理計画に影響が生じないように、限られた短期間の工期で完了させる必要があるため、設備の設計、製作者である当該業者に特命で発注したものである。

(問) 特命随意契約による機械器具設置工事で、落札率が低く、1者の特命随意契約となった詳しい状況について知りたく抽出した。

(答) 複数のJR駅周辺における既設昇降機の部品交換等を行う工事である。

製造メーカー以外の部品で交換等を行った場合、部品の規格等が異なり施工が極めて困難となることやシステム全体の責任区分が不明確となり、故障等が発生した場合の原因究明や故障修理等の対応が困難となることから、製造メーカーに特命で発注したものである。

(問) 指名競争入札による造園工事で、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 公園の遊具取替だけではなく、擁壁や側溝の整備そしてコンクリート舗装など多岐にわたる工事であり、地域に役立つワークショップで計画した内容の再整備を行うことを目的としたものである。

造園を第一希望とする八幡西区西北部のAランクとBランクの業者13者を指名したところ、1者が不参加で、1者が辞退したため、11者による競争入札となった。落札率が比較的高くなった理由として、工事内容から自社のみでの施工が困難で、多岐にわたる下請業者への発注が必要であったことが考えられる。

(問) 指名競争入札による鋼構造物工事で、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 老朽化して機能不全となっている水門を改修する工事である。

水門改修の指名実績がある市内外の鋼構造物工事の業者9者を指名したところ、4者が辞退し、1者が不参加であったため、4者による競争入札となった。落札率が比較的高くなった理由として、直接工事費の割合が高いという工事の特殊性が考えられる。